

第3学年1組 総合的な学習の時間

単元名：「南小 玉手箱」を作ろう
～3-1タイムマシンで見つけた南小～

指導者 坂本 由香

児童の願い

昔の南小のことや、どのようにして今の学校が作られてきたのかを知りたい。



ゴール

南小の歴史などに関することをまとめて、卒業する6年生に伝える。

本単元で付けたい力

- ・6年生に南小のことを知ってもらうための情報を主体的に見付けようとする。 【主体性】
- ・学校の歴史などを伝える活動をするために必要な情報を収集したり、情報を関連付けたりしながら「南小 玉手箱」に入れて紹介する内容を考え、工夫して表現することができる。 【思考力】
- ・活動を通じて、学校への愛着を深めながら、学校の歴史などを6年生に伝えられる喜びを感じ、自分の成長に気付くことができる。また、それを今後の学習に生かそうとすることができる。 【自己理解】

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

	A	B
【主体性】	・「玉手箱」作成のために必要な情報を、進んで収集したり準備をしたりしている。	・「玉手箱」作成のために必要な情報を、収集したり準備をしたりしている。
【思考力】	・南小のあゆみや学校の移り変わりに関することを調べ、「玉手箱」作成に向けて収集した情報の中から、6年生に伝えたい理由を明確にし、情報を関連付けながら、「ひみつ」(伝えたいこと)を考えている。	・南小のあゆみや学校の移り変わりに関することを調べ、「玉手箱」作成に向けて収集した情報の中から、「ひみつ」(伝えたいこと)を考えている。
【自己理解】	・活動を通して、学校への愛着を深めながら、自分もそこに関わる一員としての喜びを感じ、学校をよりよくしたいという思いをもち、自分の成長に気付いている。	・活動を通して、学校への愛着を深めながら、自分もそこに関わる一員としての喜びを感じ、自分の成長に気付いている。

「課題発見・解決学習」の過程(全12時間)

学 習 活 動	育成したい資質・能力
<p>社会科 (1～3月)</p> <p>「今にのこる昔とくらしのうつりかわり」</p> <p>○古い建物や道具、地域に受け継がれている行事を手がかりに、昔の人々のくらしや地域の人々の思いを理解する。</p>	
<p>課題の設定(2)</p> <p>○昔の南小の様子や学校の移り変わりについて関心を高める。</p> <p>・社会科の学習で聞き取りをしたことや昔の学校の写真などから、自分たちの学校のあゆみについて興味をもつ。</p> <p>・初めて卒業式にのぞむ3年生として、南小について調べたことを卒業する6年生に伝えようという単元全体の大きな課題をつかむ。 【本時】</p>	主体性

学 習 活 動	育成したい 資質・能力
○学習の見通しを立てる。 ・どんなことについて知らせていきたいか「ひみつ」を決める。 ・ゴールの見通しをもち、学習計画を立て、単元で付けたい力について考える。	主体性
情報の収集（４） ○学校の「ひみつ」について調べる。 ・役場の方や卒業生、地域の方々から聞き取りをしたり、資料を読んだりして、「ひみつ」の情報を集める。 ・集めた情報を「ひみつカード」に記入する。	主体性
道徳の時間 ○資料「学校のさくら」【価値項目４－（２）】の学習を行い、地域の方々の学校に対する思いや学校のよさを知り、それを守ろうとする心情を養う。	
整理・分析（４） ○収集した情報を整理し、「南小 玉手箱」に入れるものを考える。 ・収集した情報をもとに、「ひみつ」の理由や根拠をボーン図を使い明らかにする。 ・知らせたい内容をまとめる。 ・「南小 玉手箱」に入れるそれぞれの「ひみつ」を完成させる。	思考力
まとめ・創造・表現（１） ○各グループの内容を共有し、改善を図る。 ・他のグループの「ひみつ」を見合い、交流したことをもとに、よりよくするために内容の追加や整理を行う。	思考力
○「南小 玉手箱」を６年生に届ける。 ・６年生に、玉手箱に入っている自分達が調べた「ひみつ」を紹介する。	
振り返り（１） 学びのモニタリング ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で、ワークシートや取組を基に自らの学びや成長を振り返る。	自己理解